

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

鎌倉市

【基本情報】

フリガナ	ゴウドウカイシャコロコロソムギ
法人名	合同会社ころころ紡ぎ
フリガナ	ソムギシャ・カマクラ
事業所名	紡ぎ舎・鎌倉
提供サービス (複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
共同生活援助	
職員数 (常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出 (産休・育休、休職は除く)】	5.5人
ICT機器等導入完了日	令和 6年 2月 6日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している (多くの事務作業が電子化されている)
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
勤怠管理	③ICT機器等を導入している (多くの事務作業が電子化されている)
シフト表作成	③ICT機器等を導入している (多くの事務作業が電子化されている)
給与業務	②一部、ICT機器等を導入している (紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している (紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している (全てICT機器等で対応)

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	ノートパソコン (Lenovo)	1	
③タブレット	①作業の迅速化	ipad	2	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- 情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- 通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化 (支援記録の作成など)
- ②情報の共有化 (職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化 (請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	13人	302件	3,624件	10分	604時間	46時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		302件	3,624件	10分	604時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

鎌倉A棟：支援記録総数(2024年1月1日～1月31日)189件
鎌倉B棟：支援記録総数(2024年1月1日～1月31日)113件
トータル302件

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

鎌倉A棟：支援記録文字数平均(2024年1月1日～1月31日)167文字
鎌倉B棟：支援記録文字数平均(2024年1月1日～1月31日)153文字
タブレット不足による待ち時間1分+状況整理3分+入力6分(入力が得意でない職員にかかる時間含)と仮定し、10分と算出

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	13人	321件	3,852件	9分	578時間	44時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		321件	3,852件	9分	578時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

鎌倉A棟：支援記録総数(2024年2月6日～3月5日)176件
鎌倉B棟：支援記録総数(2024年2月6日～3月5日)145件
トータル321件

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

鎌倉A棟：支援記録文字数平均(2024年2月6日～3月5日)117文字
鎌倉B棟：支援記録文字数平均(2024年2月6日～3月5日)109文字
状況整理3分+入力6分(入力が得意でない職員にかかる時間含)と仮定し、9分と算出

年間業務時間数削減率 (%)

4.3%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等の導入の推進方法

ICT機器導入時は、3年半ほど前よりすすめていた。その際は全体研修や個別研修を行い、マニュアルなどを作成するなどして進めた。
今回は導入は済んだ状態で台数を増やしたため、大きな苦労などはなかった。
職員が複数名出勤した際や、勤務の入れ替わりの際に記録がかけない、読めないというロスタイムが生じていたため、記録をするまでの待ち時間の削減につながったと感じている

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果	
<input type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input type="checkbox"/>	4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/>	5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

支援記録作成に至るまでの待ち時間や、情報収集のためのロスタイムが削減した

ソフトウェア導入による効果	
<input type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

・待ち時間が少なくなり、効率化が図れた
・一部の職員は音声入力機能を使用し、一部入力の時間短縮につながっている(周りに利用者があるなどの時は使用できないため、常時音声入力使用は難しい)

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

利用者支援の時間の確保

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の削減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

削減額 (円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当 (※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当 (※2)	

(※1) 「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

(※2) 「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。